

じよや かね 「除夜の鐘」

平成21年 12月 第4週放送

おおみそか じよや かね な ひび
毎年、大晦日には全国各地のお寺から、除夜の鐘が鳴り響きます。

しんしん せいじゃく す ほしぞら さまざま ひび
深々と雪が降り静寂のなか、冷たく澄んだ星空のもと、この一年に起こった様々な出来事が、鐘の響きと共に甦ってまいります。

ことしいちねん いちねん
皆さまは、今年一年はどんな一年だったでしょうか？

良いこと、悪いこと、楽しかったこと、悲しかったこと、様々なことが思い起こされることでしょう。

ぶつきょう ほんのう くる う しょせつ ほんのう かす
仏教では、煩惱によって苦しみが生まれるといひます。諸説あるようですが、その煩惱の数と同じ、
ひやくやっ げんいん しんねん おおみそか じよや
百八つの鐘の響きによって、自分の苦しみの原因を除き、新たな心で新年を迎えるように、大晦日に除夜
かね ねいろ ところ き
の鐘の音色を心で聴く、とされています。

げんいん ほんのう たいせつ しゃか
苦しみの原因である煩惱を深く見つめる事の大切さを、お釈迦さまは教えて下さっています。

こんほん じぶんほんい よくほう と むさぼ かんじょう みうしな たにん
その根本には、自分本位の欲望にまかせた止めどない貪り、感情によって自分を見失い他人
じぶんじしん きす いか おろ へんけん さべつ
や自分自身をも傷つけてしまう怒り、正しい考えを持たない愚かさによって起こる、偏見や差別の
ところ
心・・・があります。

じぶんじしん むさぼ いか おろ しゃか ただ
この自分自身が持っている「貪り・怒り・愚かさ」を深く見つめ、お釈迦さまの教えにしたがった正しい
おこな くる はな
行いをする事により苦しみから離られるのです。

こらい はたら たえ ねいろ
鐘の響きには、古来より、私たちの心を清らかにする働きがあるとされています。また、その妙なる音色
げんいん ほんのう のぞ ほとけ みちび
は、苦しみの原因である煩惱を除き、仏さまの正しい教えに導く力があるとされています。

じよや かね ねいろ ところ き しゃか じぶんじしん と はんせい
除夜の鐘の音色を心で聴くということは、お釈迦さまの正しい教えを自分自身に問いなおし、反省をす
ることでもあるのです。

いの ねいろ き い
また、なにより私たちは、祈りの心で鐘を鳴らし、その音色に聴き入るのです。

しんねん せかいじゅう した けんこう
これから迎える新年が、世界中の人たちにとって、平和でありますように・・・ 親しい人たちが健康で
しあわ じぶんじしん しゃか せいかつ
幸せでありますように・・・ そして自分自身が、お釈迦さまの教えにしたがった、生活が出来ますように・・・

みなさま

皆様が良い年を迎えますように・・・